

活動計算書

令和6年1月1日から 令和6年12月31日まで

特定非営利活動法人 手と手の森

科目		金額 (単位: 円)		
I	経常収益			
1	受取会費			
	正会員受取会費	0		
	賛助会員受取会費	0	0	
2	受取寄附金			
	受取寄附金	5,912,359	5,912,359	
	施設等受入評価益	0		
3	受取助成金等			
	受取民間助成金	0	0	
4	事業収益			
	地域に根差した文化・芸術に関する事業収益	12,000	12,000	
5	その他収益			
	受取利息	415	415	
	雑収益	0	0	
	経常収益計			5,924,774
II	経常費用			
1	事業費			
(1)	人件費			
	給料手当	0		
	臨時雇用金	0		
	法定福利費	0		
	人件費計	0		
(2)	その他経費			
	福利厚生費	6,600		
	業務委託費	510,606		
	消耗品費	448,257		
	交際費	51,900		
	旅費交通費	7,099		
	その他経費計	1,024,462		
	事業費計		1,024,462	
2	管理費			
(1)	人件費			
	役員報酬	0		
	人件費計	0		
(2)	その他経費			
	業務委託費	10,000		
	通信費	97,494		
	支払手数料	33,605		
	消耗品費	1,650		
	その他経費計	142,749		
	管理費計		142,749	
	経常費用計			1,167,211
	当期経常増減額			4,757,563
	税引前当期正味財産増減額			4,757,563
	法人税、住民税及び事業税			0
	前期繰越正味財産額			△8,991,008
	次期繰越正味財産額			△3,066,234

※ 当該年度はその他の事業の実施していません。

(注) その他の事業を定款で掲げていない法人は、この脚注は不要。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

(一般正味財産増減の部)

I 経常収益

1 受取寄附金

受取寄附金振替額

.....

II 経常費用

援助用消耗品費

.....

(指定正味財産増減の部)

受取寄附金

.....

一般正味財産への振替額

使途等の制約が解除されたことによる指定
正味財産から一般正味財産への振替額

×××

×××

○○○

△×××

「受取寄附金振替額」と同額をマ
イナス計上

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合で、その他の事業を実施していないときは、上記の脚注のように記載し、その他の事業を行う場合は、7頁～8頁の書式例のように活動計算書を作成する。
- 3 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する費用で、管理費以外のものをいい、当該事業の実施のために直接要する人件費、交通費等の費用が含まれる。）等が挙げられる。なお、事業報告書に記載している内容との整合性を図る。
- 4 特に、費用規模（事業費＋管理費）でみた特定非営利活動に係る事業の割合、総費用に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。この点については、「北海道におけるNPO法の運用方針」（122頁）を参照のこと。
- 5 「前期繰越正味財産額」は、前々事業年度末の「次期繰越正味財産額」と一致する。
- 6 「次期繰越正味財産額」は、貸借対照表の「正味財産合計」と一致する。

貸借対照表

令和6年12月31日現在

特定非営利活動法人 手と手の森

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	43,406		
預貯金	2,625,791		
未収金	11,000		
流動資産合計			
2 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計 (A)			2,680,197
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	6,891,180		
預り金	22,462		
流動負債合計		6,913,642	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			6,913,642
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		-8,991,008	
当期正味財産増減額		4,757,563	
正味財産合計 (C)			-4,233,445
負債及び正味財産合計 (B) + (C) = (A)			2,680,197

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する
- 3 「前期繰越正味財産額」は前々事業年度末の「正味財産合計」と一致する。
- 4 「正味財産合計」は、活動計算書の「次期正味財産正味財産額」と一致する。

(注) 重要性が高いと判断される使途等が制約された寄附金等（対象事業等が定められた補助金等を含む）を受け入れた場合は、「Ⅲ 正味財産の部」を「指定正味財産」と「一般正味財産」に区分して表示することが望ましい。表示例は以下のとおり。

I 資産の部

1 流動資産

.....

II 負債の部

.....

III 正味財産の部

1 指定正味財産

指定正味財産合計

×××

2 一般正味財産

一般正味財産合計

〇〇〇

使途等が制約された寄附金等の残高を記載

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 2011 年 11 月 20 日一部改正 2017 年 12 月 12 日最終改正 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目		啓蒙活動	保護活動		事業費計	備考
(1)人件費						
給与手当					0	
臨時雇用金					0	
法定福利費					0	
人件費計		0	0	0	0	
(2)その他経費						
業務委託費		0	510,606		510,606	
消耗品費		0	448,257		448,257	
交際費		0	51,900		51,900	
旅費交通費		0	7,099		7,099	
福利厚生費		0	6,600		6,600	
その他経費計		0	1,024,462	0	1,024,462	
合 計		0	1,024,462	0	1,024,462	

財産目録

令和6年12月31日現在

特定非営利活動法人 手と手の森

科目	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	43,406		
旭川信用金庫	2,142,482		
ゆうちょ銀行	483,309		
棚卸資産			
Amazonギフトカード	0		
流動資産合計		2,680,197	
2 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,680,197
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
(株)グリーンフォレスト	6,829,759		
Amazon	24,492		
ソフトバンク	7,592		
ペットメモリアル天使の杜	18,700		
四季彩	6,600		
壺屋総本店	3,000		
旭川信用金庫	1,100		
預り金	22,462		
流動負債合計		6,913,642	
2 固定負債	0	0	
固定負債合計		0	
負債合計			6,913,642
正味財産			△4,233,445

(備考)

- 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。